

## 第5期(令和6年7月1日～令和7年6月30日)事業計画

### 1. 定款第4条(事業)の事業項目ごとの実施計画

定款に規定する事業 ( )内担当部会	具体的な事業項目	対象	第5期(R6.7.1からR7.6.30)実施計画
(1)建設発生土のリサイクル技術に関する研究開発及び研修 (品質・技術部会)	建設発生土リサイクル技術開発	会員	①建設発生土リサイクル技術開発ニーズ等を検討する。(継続)
	建設発生土リサイクル技術研修	会員	① <b>技術研修会を定期的開催する(継続)、又、新規入会会員向け研修会を開催する(新規)</b> 次ページ参照
(2)建設発生土のリサイクルの質の向上に関する研究開発及び研修 (品質・技術部会)	土質改良プラント第三者認証取得支援	会員	① <b>土質改良プラント第三者認証取得を支援するため講習会等を開催する(技術研修会を兼ねる、新規)。</b>
	適正な発生土受入・搬出確保手段	会員	②ストックヤード登録標識及び「受領書」不正防止プログラム販売等(継続)
(3)建設発生土に関する情報、資料の収集及び提供  (情報・広報部会)	建設発生土に関する情報、資料の収集及び提供	一般	①建設発生土リサイクル講習会を開催する。(継続) ②次の情報を収集しHP上で情報提供する。(継続) ・会員企業のプラント稼働情報、保有機器情報 ・自治体リサイクル製品認定制度における建設発生土土質改良土の認定状況、利用実績 ・テレビ・新聞等マスメディアに取り上げられた建設発生土に関する情報 ・NETIS 登録の建設発生土リサイクル技術  ③ <b>ストックヤード・運営事業者登録制度施設情報DBを構築する(新規)、盛土規制法許可・届出施設情報DBについては、都道府県等の情報公開状況を踏まえてDB構築の準備に着手する。</b>
	地域ごとの建設発生土利用調整(マネジメント)に向けた活動	会員	④国交省及び関係団体と連携し、地域ごとの建設発生土利用調整(マネジメント)実施に向けて検討を進める。(継続)
(4)建設発生土に関する技術者の養成 (品質・技術部会)	建設発生土専門技術者資格制度構築・運営	一般	① <b>「登録土質改良基幹技能者講習」事業を開始する。講習会を1回開催する。(新規)</b> ＜P22 資料8＞
(5)建設発生土のリサイクル技術を活用した防災、減災、国土強靱化の推進 (災害対応部会)	建設発生土のリサイクル技術を活用した防災、減災、国土強靱化の推進	会員 一般	①防災、減災、国土強靱化の推進に資する建設発生土及び土質改良土の活用事例を収集しHPに掲載する。(継続) ②防災、減災、国土強靱化に資する建設発生土の活用方法を検討する。(継続)
(6)建設発生土を活用した災害復旧、復興支援 (災害対応部会)	建設発生土を活用した災害復旧、復興支援	会員 一般	①災害復旧、復興支援に資する建設発生土及び土質改良土の活用事例を収集しHPに掲載する。(継続) ②災害発生土の活用方法を検討する。(継続)
(7)前各号に付帯する一切の事業  (情報・広報部会)	土に関する幅広い情報交換活動	一般	①(3)④とあわせて、行政、関係団体との意見交換会等への参加。(継続) ② <b>「こども土サミット」開催(継続)</b> <P21 資料7>
	展示会等への出展による建設発生土リサイクルへの取組の紹介・普及・啓発活動	一般	③地方ごとに開催する建設技術フェア等に出展する。(継続、九州建設技術フォーラム2024、建設技術フォーラム2024in ちゅうごく、EE 東北'25)
	協会ニュース発行	会員 一般	④4回程度「JASRA ニュース」を発行する。(継続)
	研究助成	一般	⑤ <b>若手研究者(学生を含む)を対象とした研究助成制度を継続する。(継続) 次ページ参照</b> ・第2回研究助成テーマ「液状化対策としての土質改良土の評価(仮)」

**(参考)新規入会会員向け研修会について**

- ・JASRA 会員として具備すべき建設発生土及び土質改良土に関する品質基準(JASRA 品質基準)などに関して、新規入会会員等を対象とした研修会(オンラインなど)を定期的を開催する。

**(参考)研究助成について**

- ・「JASRA VISION2050」において研究助成制度を位置づけ

**目標T3: 魅力ある建設発生土リサイクル業界および建設発生土の貴重な資源としての理解・認識の醸成に努める**

A18:若手研究者の育成

建設発生土に関する研究拡大、研究者増大のため、建設発生土リサイクルなどを研究テーマとする若手研究者への研究費助成制度を創設する。

- ・**第1回研究助成テーマ「建設発生土リサイクルによるCO2削減効果の算定」について**

- ・研究をさらに深化するため、本テーマへの研究助成を継続する。
- ・研究助成額は第4期助成額と同様50万円とする。

- ・**第2回研究助成テーマ「液状化対策としての土質改良土の評価(仮)」について**

(テーマ設定の趣旨)

- ・2024年1月能登半島地震においては液状化被害が甚大。
- ・H16年新潟中越地震を受けて設置された国交省「下水道地震対策検討委員会」において、液状化対策の1つとして「埋戻し土の固化」(セメント及び石灰改良)が有効であることが示されている。
- ・当協会としても、液状化対策としての土質改良土の有効性について評価が必要と考える。

(研究手法等)

- ・研究手法等については、今後、当協会顧問を含め、専門的知識を有する方と協議して決定予定。  
(例:液状化が懸念される地域の道路網の路床土に土質改良土を使用(道路占用工事の埋戻し土に土質改良土に使用)することによる、地域全体の地盤の液状化対策としての効果を評価)
- ・研究助成額は100万円を予定。

## 2. 総会、理事会等開催予定

第5期の理事会、部会等の開催予定は、次のとおりとする。

※部会は原則、理事会開催日に理事会の前後の時間帯で開催予定

年	月	日時	行事	講習会・研修会・展示会	備考
R 6 年	7月	16日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		27日(土)		こども土サミット(JASRA九州支部主催)	大坪 GSI
		30日(火)	会計監査		事務局
	8月	6日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		22日(木)15:30～	第4期社員総会		第一ホテル東京
		22日(木)16:20～		講演会	第一ホテル東京
		24日(土)		こども土サミット(JASRA九州支部主催)	大坪 GSI
	9月	10日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		下旬		第5期第1回技術研修会	未定
	10月	8日(火)、9日(水)		九州建設技術フォーラム 2024	福岡国際会議場
		15日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		30日(木)、31日(金)		建設技術フォーラム 2024in ちゅうごく	広島産業会館東展示館
	11月	12日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		21日(木)13:00～		第5回建設発生土リサイクル講習会	航空会館ビジネスフォーラム
	12月	10日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
未定			第5期第2回技術研修会	未定	
27日(金)		仕事納め			
R 7 年	1月	6日(月)	仕事始め		
		14日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		下旬	中間会計監査		事務局・Web
	2月	12日(水)13:30～	理事会		事務局・Web
		未定		第5期第3回技術研修会	未定
	3月	11日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
	4月	8日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		未定		第6回建設発生土リサイクル講習会	未定
	5月	13日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		未定		登録土質改良基幹技能者講習(第1回)	未定
	6月	月上旬		EE 東北 '25	夢メッセみやぎ
		10日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
未定			第5期第4回技術研修会	未定	

注：技術研修会は、品質・技術部会、災害対応部会が担当、建設発生土リサイクル講習会は情報・広報部会が担当

### 3. 部会

部会は原則、理事会開催日に理事会の前後の時間帯で開催(対面、オンライン併用)予定とします。

第4期末(R6.6.30)時点の部会員は、次のとおりですが、R6年9月以降、支部部会以外の部会員を新規に募集します。

部会にはどなたでも参加できますので、部会活動に積極的に参加をお願いします。

部会等	部会長	部会員
品質・技術部会	吉光 成寛 (吉光組)	赤坂 泰子、大和田 伸也 (ホツマプラント) 田中 均 (田中建設)、 高野 昇 (先端建設技術センター) 小重 忠司 (サンエコセンター) 張本 洋二、大久保 一誠 (張本創研) 大坪 尚宏、椛島 浩幸 (大坪G S I) 道 勇治 (吉光組)、塩野 真康 (三立建設) 辻 孝太郎、加藤 浩之、伊藤 徹也 (昭和鋼機) 奥野 廣造 (オクノコト)、管 泰宏 (弥生石材) 辰野 智規 (北陸エースコン) 長岡 勇 (環境管理センター) 大久保 浩二、菊池 一美 (大久保建設) 大竹 利幸 (前田建設工業) 大塚 義一、松本 広之 (奥村組) 帆高 宏史、高橋 正晃 (帆高建材工業) 滝口 昌彦 (心絆)、芝田 高寿 (芝田重機)
情報・広報部会	小重 忠司 (サンエコセンター)	赤坂 泰子、市川 文子 (ホツマプラント) 高野 昇 (先端建設技術センター) 吉光 成寛 (吉光組)、島内 雅志 (環境施設) 大塚 義一、松本 広之 (奥村組) 田中 久雄 (彩光)、宮上 直幸 (田中建設) 若生 伸二 (泉興業)、大久保 一誠 (張本創研) 奥野 廣造 (オクノコト)、管 泰宏 (弥生石材) 中内 浩人 (英光産業)、 大久保 浩二、菊池 一美 (大久保建設) 増田 慎司 (アダプト)、大竹 利幸 (前田建設工業) 片岡 敬三 (サンウッド)、鶴岡 洋介 (鶴よし建設)
災害対応部会	赤坂 泰子 (ホツマプラント)	高野 昇 (先端建設技術センター) 本村 信人 (リサイクルファクトリー) 田中 久雄 (彩光)、大久保 一誠 (張本創研) 管 泰宏 (弥生石材)
支部部会 (部会員は支部長)	高野 昇 (本部担当理事)	赤坂 泰子 (東北支部長) 中谷 泰之 (近畿支部長) 大坪 尚宏 (九州支部長) 注：正会員3社以上の支部に支部長をおくことができるものとする。理事会にて、支部の地域状況等を考慮し支部長の選任可否を判断し、支部長を選任できる場合は理事長が委嘱する。選任された支部長が理事となっていない場合は、直近の総会にて理事に推薦する。
土サミット実行委員会	赤坂 泰子 (ホツマプラント)	高野 昇 (先端建設技術センター) 小重 忠司 (サンエコセンター) 大塚 義一 (奥村組) 塚田 幸広 (JASRA 顧問、アジア航測) 市川 文子、宮澤 めぐみ (ホツマプラント)